小6 中学受験 算数 きほん こたえ　名前 ＿＿＿＿＿＿

点の移動とグラフ

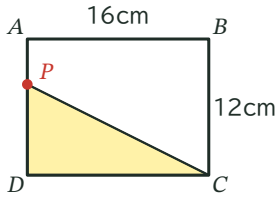
＿＿＿月＿＿＿日

れい 点Pの位置は道のり＝速さ×時間で出し、頂点を通るごとに辺をかぞえて、どの辺の上かを決める
円周上を回る2点は、1秒に進む角度の差で、重なる(360°差)・反対がわ(180°差)を考える

1 辺の上を動く点 基本

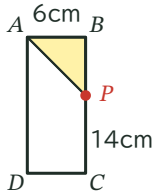
次の問いに答えなさい。

□ (1) 図の長方形ABCDで、点Pは頂点Dを出発して、辺DA、ABの上をA、Bの順に毎秒4cmの速さで動きます。三角形PCDの面積がはじめて64cm²になるのは、出発してから何秒後ですか。



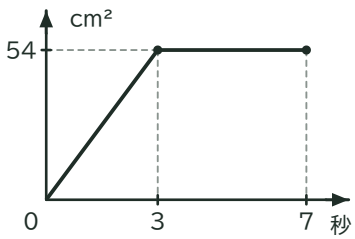
64 × 2 ÷ 16 = 8　8 ÷ 4 = 2　答え 2秒後

□ (2) 図の長方形ABCDで、点Pは頂点Bを出発して、辺BC、CDの上をC、Dの順に毎秒2cmの速さで動きます。出発してから3秒後の三角形ABPの面積は何cm²ですか。



2 × 3 = 6　6 × 6 ÷ 2 = 18　答え 18cm²

□ (3) 長方形ABCDの辺の上を、点Pが頂点Bを出発して、辺BC、CDの上をC、Dの順に一定の速さで動きます。グラフは、点Pが頂点Dに着くまでの、三角形ABPの面積と、出発してからの時間の関係です。AB=12cmのとき、点Pの速さは毎秒何cmですか。



54 × 2 ÷ 12 = 9　9 ÷ 3 = 3　答え 毎秒3cm

できた ＿＿＿ / 3問

学校・家庭・塾・教室での印刷と配布は自由です。ウェブへの掲載・販売はできません。

chiritsumo-drill.com
ほかの プリントは こちら